Science.
Applied to Life.™

3M™ 聴覚保護具 総合カタログ

Hearing Protection

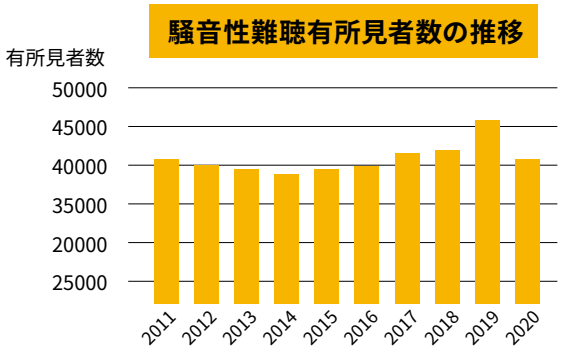
Leading the Advancement of Hearing Conservation

騒音の影響

騒音の影響には、難聴などの耳への直接的影響だけでなく、心理的作用や、ストレスとして自律神経や内分泌系に作用して起こる身体的作用（動悸や血管の収縮、胃腸の運動への影響）のような間接的影響があります。時にこれらが高血圧症や胃潰瘍等の原因になることもあります。

日本では推定16万人以上の作業者の方々が「騒音性難聴」に罹患している可能性があります。

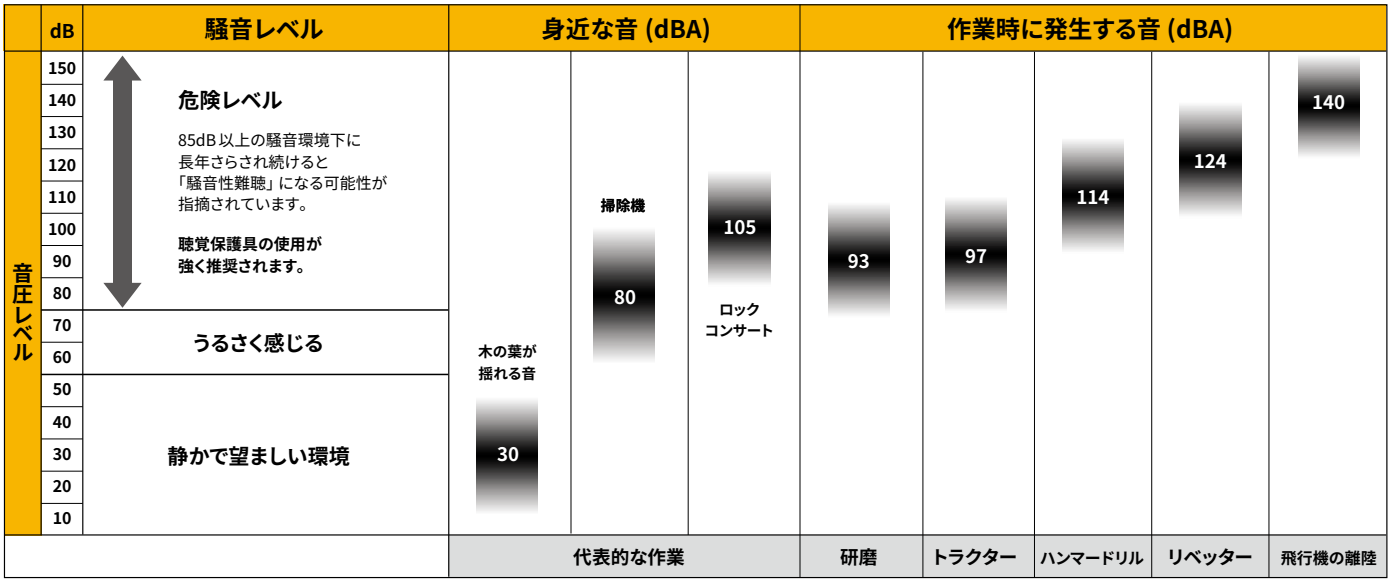
全国で等価騒音レベル85dB以上の騒音職場に働く方は、100万人以上といわれています。しかし、騒音職場で働いている方向けの特殊健康診断の受診者数は年間約32万人（令和2年）程度にすぎません。その中の有所見率は12.6%、約4万人が騒音性難聴の兆候ないしは、既に騒音性難聴であると診断されているのです。
100万人以上の方が騒音職場で働いていることを想定するとその約13%、実に13万人以上という膨大な数が推測されます。



厚生労働省「特殊健康診断結果」を基に作成

「騒音性難聴」は、治療が難しく**「予防」**が最も大切です。

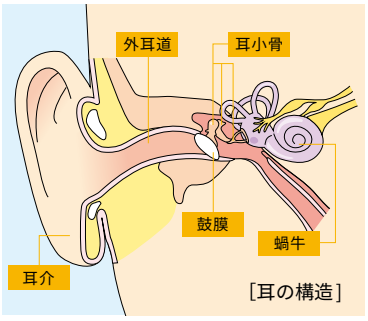
代表的な騒音レベル例



※3M™ Noise Navigator™ Sound Level Database および National Institute for Occupational Safety and Health (NIOSH) www.cdc.gov/niosh/topics/noise/ noisemeter.html より引用

騒音性難聴とは

騒音レベルが85dBを超える職場で長年働いていると徐々に蝸牛の中にある有毛細胞が消耗し、音を感じにくくなります。これが騒音性難聴です。ただし、音の特性（大きさ、高さ、衝撃性）、ばく露条件（作業時間、勤続年数）などによって聴力低下の程度は違い、また、個人差もあります。



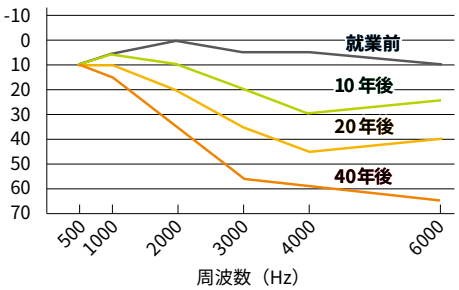
［耳の構造］

有毛細胞

ダメージを受けた
有毛細胞と消滅した跡

正常な有毛細胞

聴力レベル（dB）



有毛細胞とは
耳介から入った音は、鼓膜を振動させ、耳小骨で増幅され内耳の蝸牛と呼ばれる器官に伝えられます。この蝸牛の中のリンパ液と聴覚神経に繋がっているのが有毛細胞です。耳小骨からの振動がリンパ液に伝わりこの有毛細胞を動かす事で私たちは音を認識しています。

騒音障害防止のためのガイドライン

令和５年４月に改訂された「騒音障害防止のためのガイドライン」では、騒音作業を行う職場では定期的に騒音の測定を行い、測定結果が85dB以上になる場合には、事業者は騒音発生源対策や伝ぱ経路対策など作業環境の改善の努力をし、作業者に必要に応じて聴覚保護具の使用など受音者対策を行うことが求められています。また、騒音障害防止対策の管理者は聴覚保護具の正しい使用方法を指導し、正しく使用されているか確認することが求められます。

騒音性難聴
予防対策フロー

作業環境測定から健康診断まで、適切な騒音管理を総合的に行うことが重要です。

作業環境測定 ▶ 騒音対策 ▶ **聴覚保護具の選択** ▶ 装着指導 ▶ フィットテスト ▶ 日常管理 ▶ 健康診断

適切な聴覚保護具とは？

騒音レベルの測定をおこない、その測定値から各聴覚保護具に記されている遮音値※を引いた数字が概ね70 ～ 80dBとなるよう聴覚保護具を選定します。※ JIS T 8161-1：2020に基づ気測定された遮音性能

測定値 － 遮音値 ＝ 70 ～ 80dB

測定値	遮音値	70 ～ 80dB
C特性 重みづけ音圧レベル(dB)	SNR	聴覚保護具着用時に聞こえると 推定される音の大きさ

耳栓をしてるだけで安心していませんか？
聴覚保護具フィットテストの重要性

対策をしているつもりが、実は騒音性難聴のリスクにさらされている可能性があります。

考えられるリスク

耳栓本来の遮音効果と実際に着用したときの遮音効果測定結果例

	職場の騒音	聴覚保護具遮音効果	着用後騒音レベル	対策必要な騒音レベル
耳栓本来の性能が出ている場合	100dB	− 29dB（耳栓本来の性能）	＝○71dB	＜85dB※
ある作業者の測定結果	100dB	− 7dB（遮音効果測定結果）	＝×93dB	＞85dB※

※聴覚保護具着用後、騒音レベルが概ね 70 ～ 80dB となるように選択する

遮音効果が出ない原因例

●耳のサイズに合わない　●着用方法の誤り　●利き手の反対側がうまくつけられない

フィットテストは騒音性難聴防止のための重要なステップです。

フィットテスト実施のメリット

- 職場の騒音レベルに適切な聴覚保護具か判断できる
- データを元にした、各自に合う聴覚保護具の選定ができる
- 測定を通して、着用者が適切な装着状態を体感できる

個人遮音効果結果

職場の騒音に対する適切性

遮音効果が低い場合の改善策

正しい装着方法の習得

23 dB
個人遮音性能

耳に合うサイズへの変更

28 dB
個人遮音性能

効果が出やすい製品へ変更

27 dB
個人遮音性能

聴覚保護具遮音効果の可視化ツール

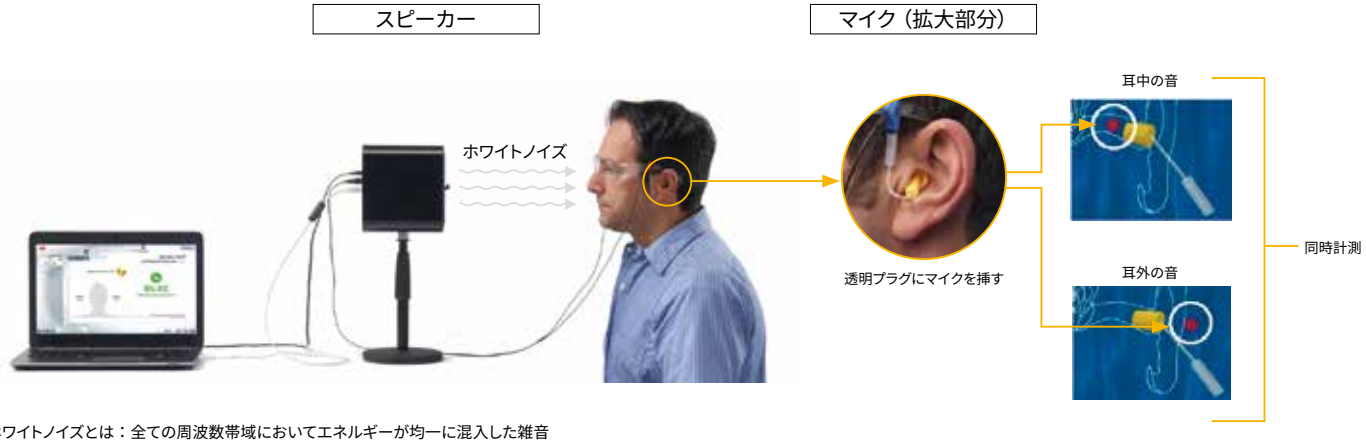
3M™ E-A-Rfit™ 聴覚保護具遮音性能測定器 Version 5.0
393-1100

測定器の特徴

測定が簡単
お手持ちのPCで利用可能
場所を選ばない（会議室等）
短時間で測定できる

結果が定量的
被験者の聴力に依存しない
測定結果が得られる

結果管理が容易
結果は自動データベース化



※ホワイトノイズとは：全ての周波数帯域においてエネルギーが均一に混入した雑音

職場の騒音レベルを元に適切な保護具を選定していきます。

3M™ E-A-Rfit™ 聴覚保護具遮音性能測定器用テストプラグ

3M™ E-A-R™ スカルスクリュー™ テストプラグ 393-2012-100

3M™ E-A-Rsoft™ イエローネオン™ テストプラグ 393-2000-100

3M™ E-A-R™ ウルトラフィット™ テストプラグ 393-2001-100

3M™ 1100 用テストプラグ 393-2010-100

3M™ E-A-R™ プッシュインズ™ ミニ テストプラグ 393-2002-100

3M™ 1270 用テストプラグ 393-2016-100

グリップタイプ

耳栓の装着が面倒だと感じることがありますか？

3Mの耳栓には、潰して装着するタイプとは別に柄をつまんで装着できる簡単装着タイプがあります。

1 簡単装着

グローブをはめたままでも簡単装着!!

ソフトフォームタイプは
装着に片耳30秒以上

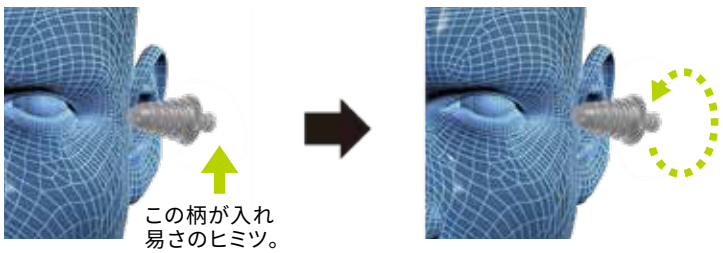
▶

柄つきフォームタイプなら
装着に片耳2秒

2 簡単フィット

耳に差し込みぐるっとねじ込むだけ!

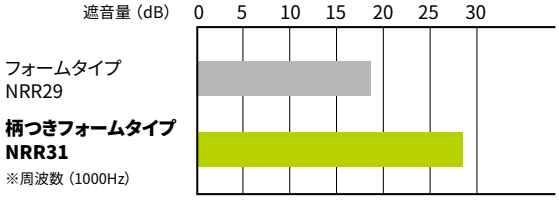
フォーム部分をつぶす必要はありません。



3 しっかり装着

初めてでも安定した性能を発揮!

耳栓の装着指導を受けなかった方が初めて装着した場合の遮音量の比較

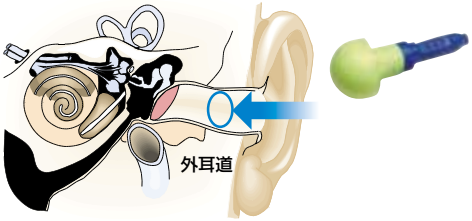


※健康診断における聴力診断は1000Hzを中心とした、500Hz～2000Hzの聴力レベルを基準に評価しています。

4 快適フィット

ミニは外耳道の小さい方に!

挿入部が小さく、奥まで入らないから快適です!



3M™ E-A-R™ スカルスクリュー™ 耳栓

クールなメタリックカラー。
装着しやすい柄付きフォームタイプ。

1週 SNR 32dB

P1300

P1301

JIS T8161-1:2020による遮音性能より

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	31.9	30.2	30.7	34.1	37.1	44.4	43.7
標準偏差(dB)	5.2	6.5	5.5	7.0	4.1	5.1	5.6
想定保護値 APVf(dB)	26.7	23.7	25.2	27.1	33.0	39.3	38.1

高域周波遮音値 H = 33 dB、中域周波遮音値 M = 28dB、低域周波遮音値 L = 26 dB

3M™ E-A-R™ プッシュインス™ 耳栓ミニ

フォームをつぶさずに簡単に装着ができます。
耳に入れる部分のフォームが小さめなので、耳の小さい方でも着け心地良好。

1週 SNR 35dB

318-1001

JIS T8161-1:2020による遮音性能より

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	31.3	35.3	36.5	35.7	37.8	39.4	40.4
標準偏差(dB)	4.4	5.0	4.9	4.2	4.5	3.2	3.9
想定保護値 APVf(dB)	26.9	30.3	31.6	31.5	33.3	36.2	36.5

高域周波遮音値 H = 34 dB、中域周波遮音値 M = 32 dB、低域周波遮音値 L = 31 dB

3M™ E-A-R™ エクスプレス™ 耳栓

カラフルでユニークな球形、
柄付きで簡単に装着できるフォームタイプ。

1週 SNR 28dB

321-2200

311-1115

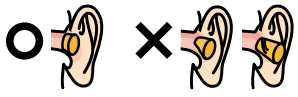
JIS T8161-1:2020による遮音性能より

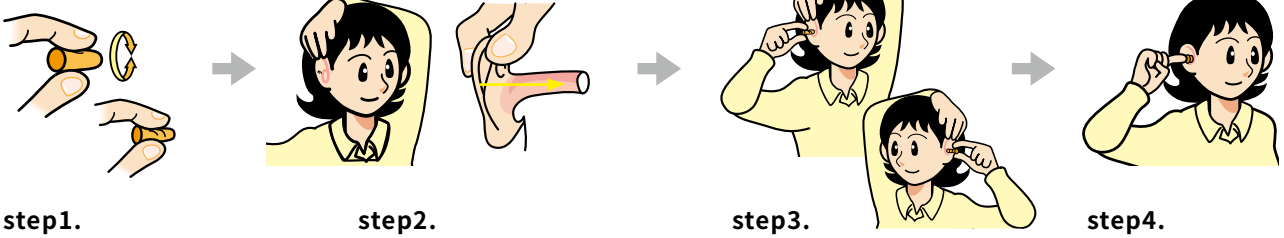
周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	24.1	27.3	26.7	29.1	35.3	38.0	39.7
標準偏差(dB)	5.2	5.0	4.8	5.0	3.3	4.4	3.5
想定保護値 APVf(dB)	18.9	22.3	21.9	24.1	32.0	33.6	36.2

高域周波遮音値 H = 31 dB、中域周波遮音値 M = 25 dB、低域周波遮音値 L = 23dB

フォームタイプ耳栓装着方法

耳の穴を真直ぐにしたらしっかり奥まで
確実に挿入しましょう。





step1.
耳せん全体を指で押しつぶすようにしながら、丸めて細くします。

step2.
耳の上の部分を耳と反対側の手で上に引っぱり上げるようにして、外耳道をまっすぐにします。

step3.
細くした耳せんを耳を引っ張った状態のまま、挿入します。

step4.
耳せんの復元力で、外耳道にぴったりとフィットするまで、耳せんが落ちないように約30秒程押さえます。

フォームタイプ

3M™ E-A-Rsoft™ イエローネオン™ 耳栓

装着の有無が確認しやすい蛍光色。

1日 SNR 34dB

311-1250

312-1250

JIS T8161-1:2020による遮音性能より

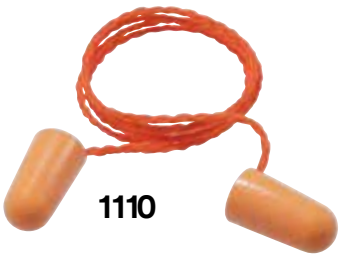
周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	32.7	34.3	37.9	37.6	33.9	43.8	40.1
標準偏差(dB)	7.4	6.5	5.4	3.7	3.7	4.0	4.0
想定保護値 APVf (dB)	25.3	27.8	32.5	33.9	30.2	39.8	36.1

高域周波遮音値 H = 33 dB、中域周波遮音値 M = 33 dB、低域周波遮音値 L = 30 dB

3M™ 耳栓 1100/1110

フォームタイプのスタンダード。

1日 SNR 37dB



1110

1100

JIS T8161-1:2020による遮音性能より

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	33.1	36.3	38.4	38.7	39.7	48.3	44.4
標準偏差(dB)	5.0	7.4	6.2	5.6	5.3	4.5	4.4
想定保護値 APVf (dB)	28.1	28.9	32.2	33.1	35.4	43.8	40.0

高域周波遮音値 H = 37 dB、中域周波遮音値 M = 34 dB、低域周波遮音値 L = 31 dB

3M™ E-A-R™ クラシック™ 耳栓

3M™ E-A-R™ 耳栓の定番モデル。

1日 SNR 31dB

311-1101

310-1001

JIS T8161-1:2020による遮音性能より

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	29.0	30.4	33.1	32.4	33.6	43.1	38.3
標準偏差(dB)	4.8	6.0	5.9	6.4	3.4	2.3	3.3
想定保護値 APVf (dB)	24.2	24.4	27.2	26.0	30.2	40.8	35.0

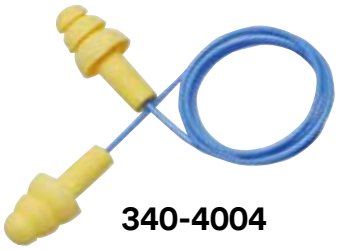
高域周波遮音値 H = 31 dB、中域周波遮音値 M =27 dB、低域周波遮音値 L = 26 dB

リユーザブルタイプ

3M™ E-A-R™ ウルトラフィット™ 耳栓

3層フランジで高い密着性を発揮。

1ヶ月 SNR 29dB



340-4004

340-4003

JIS T8161-1:2020による遮音性能より

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	27.0	26.3	27.7	28.7	32.0	37.8	41.1
標準偏差(dB)	4.9	4.2	4.5	4.4	3.7	4.5	4.4
想定保護値 APVf (dB)	22.1	22.1	23.2	24.3	28.3	33.3	36.7

高域周波遮音値 H = 30 dB、中域周波遮音値 M = 25 dB、低域周波遮音値 L = 24 dB

3M™ 耳栓 1270

柔らかいフランジで快適な装着感。

1270

1ヶ月 SNR 25dB

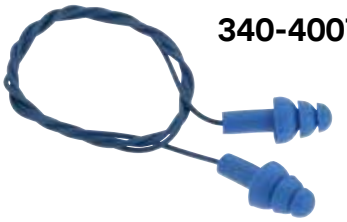
JIS T8161-1:2020による遮音性能より

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	27.9	25.6	28.0	26.4	30.1	34.5	38.8
標準偏差(dB)	4.5	5.5	5.5	4.6	6.0	5.5	3.9
想定保護値 APVf (dB)	23.4	20.1	22.5	21.8	24.1	29.0	34.9

高域周波遮音値 H = 27 dB、中域周波遮音値 M = 22 dB、低域周波遮音値 L = 20 dB

3M™ E-A-R™ ウルトラフィット™ 耳栓

金属探知に反応する金属球入り。
異物混入防止に。



340-4007

1ヶ月 SNR 29dB

JIS T8161-1:2020による遮音性能より

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	27.0	26.3	27.7	28.7	32.0	37.8	41.1
標準偏差(dB)	4.9	4.2	4.5	4.4	3.7	4.5	4.4
想定保護値 APVf (dB)	22.1	22.1	23.2	24.3	28.3	33.3	36.7

高域周波遮音値 H = 30 dB、中域周波遮音値 M = 25 dB、低域周波遮音値 L = 24 dB

3M™ PELTOR™ イヤーマフ Xシリーズ

X5A

SNR 37dB

業界トップクラスの高遮音イヤーマフ

JIS T8161-1:2020による遮音性能より

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	22.3	28.8	39.7	44.2	39.8	43.0	40.2
標準偏差(dB)	2.4	2.4	2.7	3.4	4.6	2.8	2.9
想定保護値 APVf (dB)	19.9	26.4	37.0	40.9	35.2	40.2	37.3

高域周波遮音値 H = 37 dB、中域周波遮音値 M = 35 dB、低域周波遮音値 L = 27 dB

X4A

SNR 33dB

コンパクトさと高い遮音性を両立

JIS T8161-1:2020による遮音性能より

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	22.8	25.1	27.0	40.0	35.8	38.5	38.9
標準偏差(dB)	2.1	3.1	1.7	2.8	2.2	2.7	2.9
想定保護値 APVf (dB)	20.7	22.0	25.4	37.2	33.6	35.8	35.9

高域周波遮音値 H = 36 dB、中域周波遮音値 M = 30 dB、低域周波遮音値 L = 22 dB

X1A

SNR 27dB

軽量モデルで、長く着けても疲れづらい

JIS T8161-1:2020による遮音性能より

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	11.9	15.4	24.5	34.3	32.8	37.4	37.4
標準偏差(dB)	2.0	2.6	2.6	2.3	3.3	2.5	3.8
想定保護値 APVf (dB)	9.9	12.8	22.0	31.9	29.5	34.9	33.5

高域周波遮音値 H = 32 dB、中域周波遮音値 M = 24 dB、低域周波遮音値 L = 16 dB

X2A

SNR 31dB

遮音性と重量のバランスのいいモデル

JIS T8161-1:2020による遮音性能より

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	14.1	22.2	31.1	39.7	36.6	37.0	37.9
標準偏差(dB)	2.2	2.1	2.7	3.2	3.2	3.7	3.4
想定保護値 APVf (dB)	11.9	20.1	28.4	36.6	33.5	33.3	34.5

高域周波遮音値 H = 34 dB、中域周波遮音値 M = 29 dB、低域周波遮音値 L = 20 dB

3M™ PELTOR™ イヤーマフ H10シリーズ

二重構造のカップで高い遮音性能を実現

H10A

SNR 35dB

JIS T8161-1:2020による遮音性能より

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	17.4	24.7	34.7	41.4	39.3	47.5	42.6
標準偏差(dB)	2.1	2.6	2.0	2.1	1.5	4.5	2.6
想定保護値 APVf (dB)	15.3	22.1	32.7	39.3	37.8	43.0	40.0

高域周波遮音値 H = 40 dB、中域周波遮音値 M = 32 dB、低域周波遮音値 L = 23 dB

H10B

SNR 35dB

JIS T8161-1:2020による遮音性能より

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	17.5	24.5	34.5	41.4	39.5	47.3	42.0
標準偏差(dB)	2.3	2.7	2.0	2.2	2.0	4.4	2.8
想定保護値 APVf (dB)	15.2	21.8	32.5	39.2	37.5	42.9	39.2

高域周波遮音値 H = 40 dB、中域周波遮音値 M = 32 dB、低域周波遮音値 L = 23 dB

3M™ PELTOR™ イヤーマフ H7シリーズ

厚型カップで高遮音

H7A

SNR 31dB

JIS T8161-1:2020による遮音性能より

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	14.6	20.2	32.5	39.3	36.4	34.4	40.2
標準偏差(dB)	1.6	2.5	2.3	2.1	2.4	4.0	2.3
想定保護値 APVf (dB)	13.0	17.7	30.2	37.2	34.0	30.4	37.9

高域周波遮音値 H = 34 dB、中域周波遮音値 M = 29 dB、低域周波遮音値 L = 20 dB

H7B

SNR 31dB

JIS T8161-1:2020による遮音性能より

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	14.7	20.4	32.3	39.6	36.2	35.4	40.2
標準偏差(dB)	1.8	2.6	2.5	2.2	2.4	4.2	2.4
想定保護値 APVf (dB)	12.9	17.8	29.8	37.4	33.8	31.2	37.8

高域周波遮音値 H = 34 dB、中域周波遮音値 M = 29 dB、低域周波遮音値 L = 20 dB

3M™ PELTOR™ イヤーマフ H6シリーズ

薄型カップで軽量

SNR 28dB

H6F/V

SNR 26dB

H6B/V

JIS T8161-1:2020による遮音性能より

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	12.2	18.7	27	32.9	35	36.5	34.4
標準偏差(dB)	3.4	3.2	2.9	2.1	4.0	2.9	3.9
想定保護値 APVf (dB)	8.7	15.5	24.1	30.8	31.0	33.6	30.6

高域周波遮音値 H = 32 dB、中域周波遮音値 M = 25 dB、低域周波遮音値 L = 16 dB

JIS T8161-1:2020による遮音性能より

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	10.9	17.1	25.4	31.5	32.6	36.1	34.8
標準偏差(dB)	3.5	2.8	1.8	2.6	4.3	3.2	3.6
想定保護値 APVf (dB)	7.3	14.3	23.6	28.9	28.3	32.9	31.1

高域周波遮音値 H = 30 dB、中域周波遮音値 M = 24 dB、低域周波遮音値 L = 15 dB

3M™ PELTOR™ イヤーマフ H9A

イヤーマフの
スタンダードタイプ

NRR 25dB

H9A

ANSI S3.19-1974による遮音性能

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	3150	4000	6300	8000
平均遮音値(dB)	32.6	31.2	31.8	35	36.9	44.1	44.6	47.3	46.7
標準偏差(dB)	4.6	5.2	5.4	5.4	3.4	4.3	3.9	4.2	3.7

3M™ PELTOR™ ProTac™ III 騒音制御型イヤーマフ
騒音レベルに応じて、機能が変化する新発想のイヤーマフ。

スリムタイプ
MT13H220A

SNR 32dB

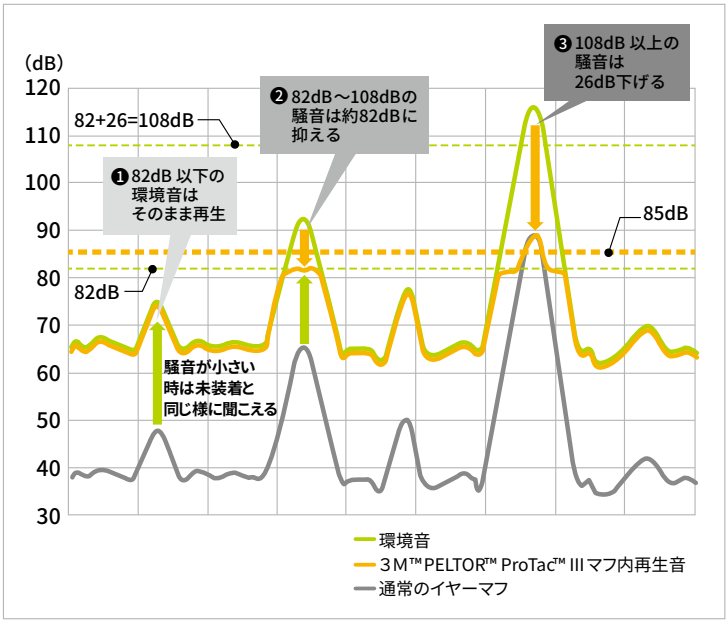
レギュラータイプ
MT13H221A

SNR 32dB

Level Dependent Function
（音量従属制御機能）

集音マイクを通して外部音が聞こえる仕組みで、外部の騒音レベルに応じて、内部で聞こえる音をコントロール。

音圧レベルごとの聞こえ方（MT13H221Aの例）



発生騒音レベル → 耳に到達する音圧レベル

❶ **75dB ▶ 75dB**
会話が聞こえやすい
（ボリュームボタンで音の増減が5段階で可能）

❷ **95dB ▶ 82dB**
騒音を軽減して聴覚保護

❸ **115dB ▶ 89dB**※
イヤーマフとして機能

※MT13H221Aの場合(NRR:26dB)

電池・電源関連

- **電池式**：単三電池2本で稼動（着用時左側のカップに）
- **自動電源off機能**：4時間不使用で電源off
- **電池残量低下警告機能**

外部接続

- **3.5mmジャック**：
無線機や携帯電話と接続することで音声が聞ける※
※コードは付属しません。

① 集音マイク
② On/Off ボタン
③ ボリュームアップボタン
④ ボリュームダウンボタン
⑤ オーディオ入力（3.5mmジャック）

3M™ PELTOR™ ProTac™ III 騒音制御型イヤーマフスリム MT13H220A

JIS T8161-1:2020に基づく遮音性能測定

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	13.3	17.4	22.3	28.0	30.8	37.6	37.0
標準偏差(dB)	3.2	1.8	2.3	3.2	3.4	2.8	4.8
想定保護値 APVf (dB)	10.1	15.6	20.0	24.8	27.4	34.8	32.2

NRS = 32 dB、高域周波遮音値 H = 34 dB、中域周波遮音値 M = 30 dB、低域周波遮音値 L = 22 dB

3M™ PELTOR™ ProTac™ III 騒音制御型イヤーマフスリム MT13H221A

JIS T8161-1:2020に基づく遮音性能測定

周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	14.7	20.4	32.3	39.6	36.2	35.4	40.2
標準偏差(dB)	1.8	2.6	2.5	2.2	2.4	4.2	2.4
想定保護値 APVf (dB)	12.9	17.8	29.8	37.4	33.8	31.2	37.8

NRS = 32 dB、高域周波遮音値 H = 34 dB、中域周波遮音値 M = 30 dB、低域周波遮音値 L = 22 dB

PELTOR™
Protection & Communication

3M™ PELTOR™ 騒音制御型耳栓シリーズ

3M™ PELTOR™ 騒音制御型耳栓
EEP-100 EU

音量従属制御機能

外部の騒音レベルに応じて、聞こえる音をコントロール。
集音マイクを通して外部音が聞こえる仕組みなので騒音の著しい環境でも
周囲とのコミュニケーションが容易になります。

ケース

管理用のケースで耳栓を充電出来ます。

- Micro B USB 充電
- IP54の防じん、防水性性能
（ケース蓋、USBポートを閉めた状態）
- ポケットサイズのポータブルケース

3M™ PELTOR™ 騒音制御型耳栓　EEP-100 EU

騒音制御型耳栓：1組、充電ケース：1個、交換プラグ4種類：各1組、
TEP-CORD：1個、Micro B USBコード：1個

各部の名称

遮音性（JIS T 8161-1:2020による遮音性能測定より）

3M™ ウルトラフィット™ 騒音制御型耳栓用 交換プラグ

周波数（Hz）	125	250	500	1000	2000	4000	8000
遮音値（dB）	34.5	31.5	36.2	33.4	34.8	34.9	38.8
標準偏差（dB）	6.0	5.4	5.6	4.3	3.8	5.0	4.0
APV（dB）	28.5	26.1	30.6	29.1	31.0	29.9	34.8

SNR=32 dB H=31 dB M=30 dB L=29 dB

3M™ PELTOR™ 騒音制御型耳栓用 交換プラグ CCC-GRM

周波数（Hz）	125	250	500	1000	2000	4000	8000
遮音値（dB）	35.5	32.5	37.1	38.0	37.6	39.5	45.5
標準偏差（dB）	4.5	4.0	4.4	3.7	2.9	4.6	4.2
APV（dB）	30.9	28.4	32.7	34.3	34.6	34.9	41.3

SNR=36 dB H=35 dB M=34 dB L=32 dB

各種数値は参考値であり、保証値ではありません。仕様及び外観は、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。本書に記載してある事項、技術上のデータ並びに推奨は、すべて当社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について保証するものではありません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任のすべてを負うものとします。売主及び製造者の義務は、不良であることが証明された製品を取り替えることに限定され、それ以外の責任は負いません。本書に記載されていない事項若しくは推奨は、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限り、当社は責任を負いません。

3M、E-A-R、E-A-Rfit、プッシュインス、エクスプレス、E-A-Rsoft、スーパーフィット、イエローネオン、クラシック、ウルトラフィット、PELTORは、3M社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社
安全衛生製品事業部
http://go.3M.com/psd

Please Recycle. Printed in Japan.
©3M 2025. All Rights Reserved.
OHS-233-I

カスタマーコンタクトセンター
製品のお問い合わせはナビダイヤルで
0570-011-321
9:00～12:00/13:00～17:00 月～金（土日祝年末年始は除く）